

第14回通常理事会（28.5.25）議決
第4回定時評議員会（28.6.15）議決

平成27年度
（第3事業年度）

事業報告書

平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで

公益財団法人河野臨牀医学研究所

平成 27 年度事業実績

(はじめに)

益々厳しくなる医療環境に加え、発展の著しい品川地区に医療機関等の進出が相次ぐ状況から、3年目にあたる平成27年度は、公益財団法人として将来に向け安定した経営基盤、財務基盤を構築すべく、中長期経営計画(5年)及び平成27年度の5つの重点計画を策定し、将来の成長に向けた先行投資、医療の質を高める収益構造の改革を進めた。

本年度の事業計画については殆ど実行し、成果を挙げたが、収支計画が医療体制再構築に時間がかかり費用が先行し、減収減益の決算となった。財務状況改善には附属第三北品川病院の収益構造の改革が急務であり、運営体制及び中期計画を見直し、実行を開始した。

(事業活動)

1 難病その他治療困難な疾患の医学的研究事業(公1)

(1) 基礎医学研究

胆道閉鎖症の肝再生を目指した細胞生物学的研究並びに間葉系幹細胞を用いた軟骨再生に関する基礎的研究を行い、前者については、胆道閉鎖症由来肝組織には、肝細胞の前駆細胞が不活性の状態が存在し、培養系において初めて活性化されることを見出した。

また、後者については、臨床で用いられるヒアルロン酸の中、高分子ヒアルロン酸には、TGF- β による間葉系幹細胞から軟骨細胞への分化を促進する効果があることを示唆する結果を得た。

以上の結果を踏まえて新たに3件の新規の再生医学研究課題に取り組んだ。黄色ブドウ球菌性表皮剥脱毒素と受容体ガングリオシドの結合解析の研究も引き続き進めた。

指導面としては、米国の再生医学関連学術雑誌のエディターとして、また、日本組織培養学会の研修講師として、再生医学の発展に貢献した。

更に、当財団内の臨床医学研究、予防医学研究の研究者育成を図るため、臨床分野の医学研究会を開催し、発表方法及び研究の進め方のアドバイス並びに研究ガイドライン及び倫理面についての研修指導を行った。

(2) 臨床医学研究

安全・安心で質の高い医療を提供すべく、病院と研究所の緊密な連携のもと、医療現場の課題を研究にフィードバックし、かつ患者のQOL向上、家族等環境要因にも配慮した臨床研究を進め、成果の発表を行った。

リハビリテーションについては東京慈恵会医科大学と連携した回復期脳卒中患者のrTMSの効果その他の共同研究への参画が3件に増えリハビリテーションの質の向上に対する貢献としてデータ蓄積、応用の検討など研究の充実を進め、学会等での発表を増やした。

大都市部における急性期から在宅までのシームレスなリハビリテーションの研究を進めるべく、施設の整備対策、研究体制の強化策等の準備を進めた。

臨床医学研究の質の向上と臨床医学研究者のリサーチマインドの育成のため、財団内部の臨床医学研究者による医学研究会を開催、7題の発表及び前大学教授によるモデル的な研究発表を行った(75名参加)。

本年度は更に、介護職員の介護研究発表会を2回に分けて実施12名の発表があり、患者のQOLを高めるための熱心な討議がなされた。

従前からの治験に加え、変形性関節症患者等対象の多施設共同試験4件、その他1件の新規の治験を開始した。

(3) 予防医学研究

予防医学センターでは、メンタルヘルス不調等に対して組織内における内的・外的要因による環境の変化と発症の因果関係等「組織診断」という考え方で受診者情報を集積し、より有効な疾病予防対策の確立に向け事業を進めている。そのため情報システムのリプレースを実施した。

また研究成果を啓蒙活動、産業医活動等で還元した。様々な雑誌等でも脳機能の研究等を基にした予防策などが多く取り上げられた。

PHR 構想を実現できる真の予防医学研究センターになるよう計画的に事業を進めている。

(4) 研究成果の普及・啓発

紀要(年報 Vol.65、英文機関誌 Vol.31)については、平成28年4月1日付で2015年版を刊行とした。補助金活用による検診車整備結果及び研究寄附者一覧を掲載、御礼を申し上げた。

学会等での発表8件、論文発表(英文)1件、その他地域啓発誌『北品川メディカルタウン』発行、禁煙通信・外来インフォメーションの発行、痛み外来等の小冊子を発行、回復期リハビリテーションクリニカルインデックスを作成、その他各施設で最新の医療情報の提供に努めた。

品川区救急業務連絡協議会、品川薬剤師学術勉強会等地域の様々な会での講演等広く健康に関する啓蒙活動を実施、地域の宿場まつりなどに看護師等が参画して、健康相談や医療機器使用、老人疑似体験会等の研究成果を活用した地域活動を行った。

(5) 教育・研修

第 55 回河医研医学会総会（研究発表会）を平成 28 年 2 月 18 日に開催、ポスターセッションと総会発表を併用、26 題の発表があり、活発な議論がなされた（前年以上の 230 名が参加）。

品川区リハビリテーション・ネットワークを 3 回開催し、症例検討、グループ討議、講演会を実施した。

品川区、品川ケア協議会と連携し、区内の介護、訪問看護、ケアマネ従事者を対象とする講演会を実施（講師を派遣）した。

国内の研究活動に資するため日本培養学会細胞指導士の指導にも努めた。

救命救急士再教育実習（5 名）、その他リハビリテーションスタッフ臨床実習・介護職研修等を実施した。

2 医療施設等の運営

(1) 附属第三北品川病院

地域のニーズに応え、都内で手薄の夜間における整形外科疾患の高齢者救急等の強化に取り組み、年間約 3 万 1 千台の受入が約 3 万 4 千台弱へと増えた。

医療体制の強化、オペのより低侵襲化を図るべく、東京女子医科大学整形外科との連携強化(平成 28 年 4 月から大学を退任する主任教授を院長に招聘)、昭和大学の消化器・一般外科との連携を開始(当初医師 1 名、平成 28 年 4 月から常勤医 2 名配置)し、内視鏡視下手術等に取り組んだ。

更に昭和大学脳神経外科との連携開始、肩・肘及びペインクリニック(昭和大学麻酔科連携、難治性疼痛、前帝京大学教授) 専門外来を開始、またキャリア豊富な病院事務長を採用した。

総合カンファランスの実施等、医療の質の向上、看護、看護補助者の質の向上に努めた。地域連携室の設置、地域防災への協力等地域連携を強化した。

電子カルテを導入した。病院機能評価更新受審(3rdG : Ver.1.1)を活用して、チーム医療等の医療の質向上に病院全体で取り組んだ。

病院規模に見合った医業収益を確保すべく、基本事項の徹底、業務の効率化等に取り組んでいる。

(2) 附属品川リハビリテーション病院(旧称 北品川病院)

施設の業務内容を明確にすべく、名称を 4 月から品川リハビリテーション病院に改称した。

リハビリスタッフを年々増やし、教育している。本年度は木曜日や訪問のリハビリテーションの強化を図り、予定通りの成果を挙げた。

東京慈恵会医科大学と連携した回復期脳卒中患者の rTMS 治療、慢性期脳卒中患者の拘縮に対するボトックス治療を引き続き行っている。

昭和大学病院の協力病院として脳卒中連携の推進強化、第三北品川病院との大腿骨頸部骨折等のパスを開始した。

老朽化対策と地域保健医療の確保と質の向上、病床区分の変更による効率的な病院運営、シームレスなリハビリテーション、地域包括ケア構築への協力、人材育成や地域防災対策等に取り組むため、品川区有地に移転建設する品川リハビリテーションパーク計画(仮称)を策定し、東京都の各種施設整備補助事業について申請した。

(3) 附属北品川クリニック(予防医学センター)

業務の標準化による効率化、健診 Web システムへの転換、診療情報の蓄積・分析等に役立てるため情報システムの整備を進めた。

機器の整備とデジタル化、業務の効率化と受診者サービスの改善を図るべく施設内の整備を行った。

公益財団法人 JKA の補助事業を活用して検診車の整備を行った。

内視鏡検査及び放射線画像の読影については、北里大学、昭和大学と連携開始。

その他感染予防や法改正に伴うストレスチェック制度導入への体制を構築した。

3 その他目的を果たすために必要な取組み

職員採用対策としての訪問活動の強化、労務管理改善のための社会保険労務士と毎月労務管理改善の検討会を進めた。厚生年金代行返上に対応した。

各種規程の整備、委託等の見直し、業務内容の広報の在り方、老朽化対策等に取り組んだ。

研究所の境界線を確定した。

4 対処すべき課題

品川リハビリテーションパーク計画の円滑な推進と開設、地域包括ケア体制の構築に向けて地域及び専門家とも連携しながら、職員一丸となって取り組むとともに遂行状況の適切な検証を実施する。

附属第三北品川病院の医療体制の再構築、強化による規模に応じた収益の早期確保と地域ニーズに応じた病床の見直しを図る。施設間の連携を高め、財団内資源を有効活用する。

新たな目標管理制度を構築するとともに、人事制度の抜本改革を図る。

コンプライアンス等内部統制の強化、定着を図る。研究事業の一層の内容の充実を図り、研究成果を社会に還元する。

1. 貸借対照表

平成28年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	895,082,292	748,227,058	146,855,234
医業未収金	434,957,886	435,710,461	△ 752,575
未収金	13,261,873	10,407,288	2,854,585
医薬品	9,440,889	10,947,180	△ 1,506,291
診療材料	12,947,304	12,753,609	193,695
前払費用	7,041,937	6,660,429	381,508
その他	8,342,065	4,255,431	4,086,634
流動資産合計	1,381,074,246	1,228,961,456	152,112,790
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			0
預金(特定資産)	40,000,000	10,000,000	30,000,000
特定資産合計	40,000,000	10,000,000	30,000,000
(3) その他固定資産			0
建物	479,355,838	504,148,796	△ 24,792,958
付属設備	308,500,570	325,618,618	△ 17,118,048
構築物	12,711,887	14,287,904	△ 1,576,017
医療用器械備品	170,911,102	192,498,043	△ 21,586,941
その他器械備品	95,726,356	28,772,331	66,954,025
車輜運搬具	36,061,424	27,979,025	8,082,399
土地	354,495,947	354,495,947	0
建設仮勘定	50,444,900	0	50,444,900
ソフトウェア	55,207,870	2,181,172	53,026,698
敷金	9,946,400	10,651,400	△ 705,000
出資金等	560,100	560,100	0
その他固定資産合計	1,573,922,394	1,461,193,336	112,729,058
固定資産合計	1,623,922,394	1,481,193,336	142,729,058
資産合計	3,004,996,640	2,710,154,792	294,841,848

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	89,805,038	19,602,785	70,202,253
未払金	153,927,369	88,885,184	65,042,185
未払消費税	6,114,800	20,669,600	△ 14,554,800
未払費用	48,638,145	41,913,402	6,724,743
従業員預り金	15,171,979	5,799,651	9,372,328
短期借入金	20,000,000	0	20,000,000
1年以内返済長期借入金	481,137,000	272,588,000	208,549,000
リース債務	60,599,628	54,989,115	5,610,513
賞与引当金	69,000,000	71,875,000	△ 2,875,000
預り金他	14,958,212	17,309,105	△ 2,350,893
流動負債合計	959,352,171	593,631,842	365,720,329
2. 固定負債			
従業員預り金	1,200,000	1,200,000	0
長期借入金	1,293,758,000	1,374,895,000	△ 81,137,000
リース債務	138,869,877	136,768,654	2,101,223
退職給付引当金	242,212,070	208,214,800	33,997,270
固定負債合計	1,676,039,947	1,721,078,454	△ 45,038,507
負債合計	2,635,392,118	2,314,710,296	320,681,822
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	46,623,267	54,597,267	△ 7,974,000
民間補助金	14,367,500	8,452,500	5,915,000
受取寄附金	26,500,004	35,750,000	△ 9,249,996
指定正味財産合計	87,490,771	98,799,767	△ 11,308,996
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(40,000,000)	(10,000,000)	(30,000,000)
一般正味財産合計	282,113,751	296,644,729	△ 14,530,978
正味財産合計	369,604,522	395,444,496	△ 25,839,974
負債及び正味財産合計	3,004,996,640	2,710,154,792	294,841,848

2. 正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,800	2,500	300
基本財産受取利息	2,800	2,500	300
事業収益	3,269,270,441	3,293,357,497	△ 24,087,056
受取補助金等	30,541,676	31,374,240	△ 832,564
受取補助金等	8,472,680	8,902,046	△ 429,366
受取寄付金	260,000	1,125,000	△ 865,000
指定正味財産から振替	21,808,996	21,347,194	461,802
雑収益	26,024,977	26,941,375	△ 916,398
その他雑収益等	26,024,977	26,941,375	△ 916,398
経常収益計	3,325,839,894	3,351,675,612	△ 25,835,718
(2) 経常費用			
材料費	314,801,075	269,133,091	45,667,984
給与費	2,159,751,293	2,126,854,646	32,896,647
役員報酬	22,461,864	24,126,412	△ 1,664,548
給料	1,655,805,049	1,620,781,442	35,023,607
賞与	84,027,000	85,500,000	△ 1,473,000
賞与引当金繰入額	60,000,000	61,373,000	△ 1,373,000
退職給付費用	57,188,000	59,255,428	△ 2,067,428
法定福利費	238,968,533	234,484,447	4,484,086
通勤交通費	41,300,847	41,333,917	△ 33,070
委託費	259,274,354	302,159,727	△ 42,885,373
設備関係費	308,897,160	328,936,483	△ 20,039,323
減価償却費	167,829,124	172,965,487	△ 5,136,363
器機保守料等	141,068,036	155,970,996	△ 14,902,960
研究研修費	7,121,105	6,242,525	878,580
経費	291,847,844	299,630,699	△ 7,782,855
福利厚生費	13,312,282	12,506,656	805,626
旅費交通費	3,031,059	3,309,125	△ 278,066
通信運搬費	14,020,826	13,735,285	285,541
消耗品費	31,477,116	34,005,750	△ 2,528,634
消耗器具備品費	8,395,306	8,879,136	△ 483,830
印刷製本費	5,344,481	4,322,276	1,022,205
光熱水料費	68,996,168	79,652,303	△ 10,656,135
諸謝金	3,857,311	4,685,089	△ 827,778
租税公課	561,874	613,230	△ 51,356
求人費	12,460,968	17,751,346	△ 5,290,378
保険料	8,242,654	6,965,167	1,277,487
その他経費	25,402,558	25,712,367	△ 309,809
支払利息	26,766,703	23,612,101	3,154,602
控除対象外消費税等負担額	69,978,538	63,880,868	6,097,670
経常費用計	3,341,692,831	3,332,957,171	8,735,660
当期経常増減額	△ 15,852,937	18,718,441	△ 34,571,378
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	5,407,246	△ 5,407,246
貸倒引当金戻入額	1,322,000	0	1,322,000
当期経常外収益計	1,322,000	5,407,246	△ 4,085,246
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	41	67,856	△ 67,815
当期経常外費用計	41	67,856	△ 67,815
当期経常外増減額	1,321,959	5,339,390	△ 4,017,431
当期一般正味財産増減額	△ 14,530,978	24,057,831	△ 38,588,809
一般正味財産期首残高	296,644,729	272,586,898	24,057,831
一般正味財産期末残高	282,113,751	296,644,729	△ 14,530,978
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金・寄付金	10,500,000	25,320,000	△ 14,820,000
一般正味財産への振替額	△ 21,808,996	△ 21,347,194	△ 461,802
当期指定正味財産増減額	△ 11,308,996	3,972,806	△ 15,281,802
指定正味財産期首残高	98,799,767	94,826,961	3,972,806
指定正味財産期末残高	87,490,771	98,799,767	△ 11,308,996
III 正味財産期末残高	369,604,522	395,444,496	△ 25,839,974

5. 財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(2-1)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金及び預金	手元保管現金 当座預金(商工中金 他) 普通預金(みずほ銀行 他) 通知預金(商工中金) 定期預金(商工中金 他) 郵便振替(ゆうちょ銀行)	公益目的事業の運転資金として 公益目的事業の運転資金として 公益目的事業の運転資金として 公益目的事業の運転資金として 公益目的事業の運転資金として 公益目的事業の運転資金として (現預金 計)	3,092,058 173,168,613 602,268,196 110,000,000 6,500,000 53,425 (895,082,292)
医業未収金	社会保険診療報酬支払基金 他	公益目的事業実施に伴う短期債権	453,445,048
貸倒引当金	医業未収金に対するもの	公益目的事業実施に伴う短期債権の貸し倒れに備えたもの	△18,487,162
未収金	治験等の未収金に対するもの	公益目的事業実施に伴う短期債権	13,261,873
医薬品	㈱スズケン 他	公益目的事業の在庫	9,440,889
診療材料	㈱富士フイルムメディカル 他	公益目的事業の在庫	12,947,304
前払費用	前払賃借料 他	公益目的事業実施に伴う短期債権	7,041,937
その他流動資産	治験受託の未収収益 他	公益目的事業実施に伴う短期債権	8,342,065
流動資産 合計			1,381,074,246
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	三菱東京UFJ銀行五反田支店	管理運営に供する財産	10,000,000
特定資産			
建物建設資金	定期預金(さわやか信用金庫品川支店)	公益目的事業に供する建物建設準備金	40,000,000
その他固定資産			
建物	1574.56㎡ 附属北品川クリニック、財団事務局 東京都品川区北品川1丁目66番地3 鉄骨鉄筋コンクリート陸屋根地下1階地上7階建	(共用財産) うち公益目的保有財産 97% うち管理運営に供する財産 3%	(22,298,096) 21,629,153 668,943
建物	5,112.62㎡ 附属第三北品川病院 鉄骨鉄筋コンクリート・鉄筋コンクリート造 陸屋根地下2階 地上5階建 他 東京都品川区北品川3丁目194番地の1 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	438,911,049
建物	3113.56㎡ 附属北品川病院 鉄骨鉄筋コンクリート・鉄骨 陸屋根地下1階 地上11階建 東京都品川区北品川1丁目37番地の1	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	351,213
建物	446.06㎡ 研究所 鉄筋コンクリート 陸屋根地下1階 地上3階建 東京都品川区北品川3丁目195番地29	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	17,795,480
付属設備	電気設備 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	308,500,570
構築物	浄化槽 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	12,711,887
医療用器械備品	医療用器機 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	170,911,102
その他器械備品	事務用機器 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	95,726,356
車輛運搬具	検診車 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	36,061,424

(2-2)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
土地	308.04㎡ 附属北品川クリニック 財団事務局 東京都品川区北品川1丁目6番3	(共用財産) うち公益目的保有財産 97% うち管理運営に供する財産 3%	(5,500,000) 5,335,000 165,000
土地	1,546.82㎡ 附属第三北品川病院 東京都品川区北品川3丁目194番98 他 4筆	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	291,920,242
土地	858.77㎡ 附属北品川病院 東京都品川区北品川1丁目37番の1 他 4筆	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	35,075,705
土地	163.07㎡ 研究所 東京都品川区北品川3丁目194番29	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	22,000,000
建設仮勘定	基本設計料	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	50,444,900
ソフトウェア	医療電子カルテ一式 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	55,207,870
敷金等	看護師・医師寮 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	9,996,400
出資金	さわやか信用金庫 他	管理運営に供する財産	510,100
		(その他固定資産 計)	(1,573,922,394)
固定資産合計		うち公益目的保有財産 うち引当資産 うち管理運営に供する財産	1,623,922,394 1,572,578,351 40,000,000 11,344,043
資産合計			3,004,996,640
(流動負債)			
買掛金	東邦薬品㈱他に対するもの	公益目的事業に供する薬品・医療材料購入等の未払分	89,805,038
未払金	㈱保健科学研究所他に対するもの	公益目的事業に供する検査料等の未払分	153,927,369
未払消費税			6,114,800
未払費用	従業員に対するもの	公益目的事業の給料等の未払分	48,638,145
従業員預り金	職員に対するもの	公益目的事業の住民税等の預り分	15,171,979
短期借入金	みずほ銀行五反田支店	公益目的事業に供する借入分	20,000,000
1年内返済長期借入金	商工中金大森支店 他	公益目的事業に供する借入分	481,137,000
リース債務	医療機器他に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に使用している機器等の債務	60,599,628
賞与引当金	従業員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与の引当金である	69,000,000
その他流動負債	患者他(入院時保証金等)	公益目的事業実施に伴う短期債務	14,958,212
流動負債合計			959,352,171
(固定負債)			
従業員預り金	職員に対するもの	公益目的事業の医師寮敷金相当の預り分	1,200,000
長期借入金	商工中金大森支店 他	公益目的事業に供する借入分	1,293,758,000
長期リース債務	医療機器他に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に使用している機器等の債務	138,869,877
退職給付引当金	従業員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金の引当金である	242,212,070
固定負債合計			1,676,039,947
負債合計			2,635,392,118
正味財産			369,604,522